

所 報

題字：武田満之校長（平成9年、野幌中学校）

第170号 令和4年 8月 10日

江別市教育研究所所報

江別市高砂町 24-6 TEL381-1058

（主な内容）

・ 江別市教職員夏期セミナー実施報告

江別市教職員夏期セミナー実施報告

コロナウイルスの流行から3年目を迎えた江別市教職員夏期セミナーは、講座数の厳選や、参加人数を制限する等、感染症対策として規模を縮小させながら、7月25日（月）、26日（火）、28日（木）の3日間にわたって実施されました。今回の取組は、各校からのご協力もあり、途中の変更が一切なく、3年ぶりに予定通り実施させて頂くことができました。この場をお借りし、皆様からのご協力に対しまして、感謝申し上げます。

講座①の「今日的な教育課題」では、北海道立教育研究所の松浦隆史研究主幹より、令和の日本型教育推進に当たってのポイントや、学習ニーズに応える個別最適な学びと協働的な学びの一体化の重要性、北海道教育行政執行方針に記載されている注目点等について、分かり易くお話していただき、参加者からは「難しい各種答申の内容を分かりやすく説明して頂き、これからの学校教育に求められている事項の再確認ができました。今後子どもたちのために、一人も取りこぼすことのない授業改善の必要性を改めて感じました。」などの感想が聞かれ、大変有意義な研修となりました。



夏期セミナー第一講座の様子



夏期セミナー第二講座グループ討論の様子

講座②の「特別支援教育」では、道立特別支援教育センター発達障がい教育室長の音羽孝文氏より、ニーズに応える個別最適な支援の場を保障するために、子どもの実態を把握する中で、できることを増やすことを前提とした選択が、保護者との合意形成において重要なポイントになること等を、ご示唆していただくことができました。参加者からは「日頃の実践を振り返ったり、これからどうすべきか考えるきっかけになった。」「グループフォームを使っでの交流は、参考となる意見が一度にたくさん共有できて良かったです。」などの感想が聞かれ、現場実践に直接反映できる大変有意義な研修となりました。

講座③の「GIGAスクール構想の推進」では、北海道学推進フォーラム理事長の新保元康氏より、「GIGAスクール構想の推進」に当たっては、固定観念にとらわれず、日常の取組を形にこだわることなく改善していく大切さについて、ご講話いただくなど、これからの目指すべき方向性を示していただくことができました。参加者からは「ルール優先よりもトライアル優先！自分自身に欠けている点に気付かせていただきました。」「今日、教育現場がおかれている社会情勢が見えて、今教育現場に求められていることが少し見えた気がしました。」等の感想が聞かれ、課題解決に向けた方向性が確認できる貴重な講義となりました。



夏期セミナー第三講座の様子



夏期セミナー第四講座グループ討議の様子

講座④の「小中一貫教育」では、北広島市教育委員会学校教育課の比良彰男指導主事より、市内一斉導入に向け「基本方針の策定」「つなぐをテーマにした実践紹介」等、北広島市が取組を軌道に乗せていった概要について、北広島市立西部小学校の山本和彦主幹教諭からは、小中一貫教育の推進に当たって、カギとなる「系統性ある教育課程の編成」について実践例を示していただきました。参加者からは、「具体的な実践報告を聞くことができ、自校区での今後の取組に対して非常に参考になりました。」「系統性のある教育課程の編成に向け、接続の視点を紹介していただくなど、大変参考になりました。」などの感想が聞かれ、現場での実践に反映できる大変有意義な研修となりました。

講座⑤の「アイヌ民族の歴史と文化」では、北海道博物館学芸副館長の小川正人氏より、博物館の展示の考え方を通した、アイヌの歴史や文化についてお話をしていただき、参加者からも「アイヌ民族の歴史や文化を、授業で取り扱う上での基本的な視点を学ぶことができました。」「アイヌ民族の学習を進める上で、“今”と言う視点が自分にはなかったのが、大変参考になりました。」「自由見学後、展示の考え方を聞かせて頂き、更に視点を変えて見学することができたので、分かりやすかった。」などという感想が寄せられ、とても有意義な研修となりました。



博物館内の展示物を見学する参加者の様子

講座⑥の「不登校生徒への対策について」では、江別市教育委員会教育支援課 SSW田村千波氏より、「不登校の兆候が見られる児童生徒への支援の視点について」また、少年指導センター専任指導員三浦崇史氏より、「市内の不登校生徒の現状及び、すぽっとケアでの支援方法について」報告していただき、市内で共有して取り組むべき方向性を示していただくことができました。参加者からも「教育相談をする際の7原則を踏まえたグループワークが勉強になりました。COとして、学んだ手法を取り入れ実践で、生かしていきたいと思います。」「すぽっとケアでの活動内容が詳しく聞けて良かった。講師からもありましたが、教員だけではなく保護者の方々の理解も大切だと感じました。」などの感想が聞かれ、現場での実践に直接反映できる大変有意義な研修となりました。



グループ討議にアドバイスする講師の様子

各講座の終了後に、講座内容に対するアンケートを実施しましたが、評価では（大変良かった、良かった、普通、あまり参考にならなかった、参考にならなかった：5段階評価）、「大変良かった」と「良かった」が全体の約97%を占めるなど、高評価を得る研修となりました。また、講座の内容に関する希望では、「実際に見る、触れることができる講座が良いです。夏休み中の講座なので、いつもと違った形の講座を希望します。」「郷土資料館の活用方法や、江別産の野菜が給食で使われているので、農家での体験、レンガ工場の見学等、江別について学習する講座」「レンガ工場や町村牧場等、江別を代表する場所を見学してまわる講座」等の意見もいただくこともできました。これらの意見については、次年度の計画に反映させ江別市教職員夏期セミナーが益々充実させられるように進めていきたいと考えています。